

2026年1月 近鉄百貨店 売上速報

店舗別売上高対前年増減率(%)

	1月	
	売上高 ※1	(参考) 取扱高 ベース売上高 ※2
あべのハルカス近鉄本店 (あべのハルカス近鉄本店 Hoop 等を含む)	4.2 (3.6)	4.9
上本町店	1.1	6.2
東大阪店	7.4	10.9
奈良店	2.0	2.9
橿原店	5.6	5.4
生駒店	2.7	2.9
和歌山店	2.1	2.4
草津店	5.9	4.8
四日市店	△1.1	△1.1
名古屋店 (近鉄パッセ)	△29.4	15.8
合計	2.4	4.3

(注) 数値は速報値のため、確定値とは誤差が生じる場合があります。また、消化仕入取引を総額に置き換える等調整をおこなっております。

※1 百貨店部分の売上高と専門店部分の賃貸収入を合計した売上高。

※2 百貨店部分の売上高と専門店部分の取扱高を合計した売上高。

【あべのハルカス近鉄本店の1月概況】

1月は、食料品が全館の売上を牽引し、入店客数、売上高ともに前年実績を上回りました。特に9階催会場で開催した「ギフト食品大バーゲン」や「バレンタイン ショコラコレクション」は前年実績を2ケタ以上上回る活況となりました。

ファッション関連では、入園・入学などセレモニー需要のアイテムが好調に推移したほか、気温の低下に伴いブーツや手袋など防寒身の回り品も堅調でした。

また、外商部門においても、ラグジュアリーブランドや高額時計を中心に好調に推移しました。